

# 子どもたちとの交流から学ぶ ～ようこそ、金沢星稜大学へ！～

団体名 ● 金沢市立小坂小学校2年生 芥川フィールド基礎演習 / 代表者名 ● 芥川元喜(人間科学部こども学科・准教授)

## はじめに

金沢市立小坂小学校とは、担当ゼミナール3年生「こどもフィールド演習」のフィールド校としてもここ数年、継続した連携活動をさせて頂いている。今回は、担当ゼミナール2年生「フィールド基礎演習」で、小坂小学校2年生の子どもたちと交流を行った活動を紹介する。

## 活動内容

小坂小学校の2年生・生活科「町たんけん」の学習で、本学に興味・関心を持った子どもたちが本学に来学し、大学生が大学案内をした活動である。

### 1. 事前の活動

子どもたちにとって本学は小坂小学校の校区にあり、通学途中に校舎の前を通る子どもたちもいるということで、毎年、本学に興味・関心を持つ子どもたちが多くいてくれる。そうした子どもたちが事前に、本学に関する質問(聞きたいこと・調べたいこと)を送ってくれた。その質問に学生が答えるため、内容について調べたり、伝えるためのパワーポイントを作成したりする活動から始まった。

小学生と交流活動を行う、筆者が担当する2年生フィールド基礎演習を受講する学生は9名いる。この9名は同時に「学校インターンシップ」も受講し、週1回、金沢市内の小学校に授業サポートを行う学生としても通っている。

子どもたちからは、「金沢星稜大学はいつできたのですか」、「金沢星稜大学には何人の学生がいるのですか」のような本学に関わる質問や、「大学生は何時間目まで勉強するのですか」、「お昼は、給食はあるのですか」という、大学生の生活に関わる質問まで、多くの質問が届いた。学生は子どもたちからの一つひとつの質問に目を通し、その内容の答えを探し、どのように子どもたちに伝えるかを考えた。小学校教員を志望する学生も多いため、小学校2年生にどのように伝えたら分かりやすく伝わるのか、を話し合った。その結果、クイズ形式

で答えると子どもたちも分かりやすいのではないかと考え、クイズ形式のパワーポイントを作成することにした。各質問に答える担当者を決め、その各担当者がパワーポイントを作成した。完成してからゼミナールでリハーサルを繰り返し、スライドの言葉や、伝える言葉について全員で確認し、小学校2年生に分かりやすい答え方について話し合い、じっくり考えた。リハーサルが終わってから、この伝え方で分かりやすいかどうか等、何度も質問に来る学生もいて、学生も本学に来校する2年生との交流をしっかりとやり遂げたいという思いと、2年生の子どもたちの学びのために、力になりたいという思いを強く持ってくれているように感じた。

### 2. 活動当日

10月21日(金)に本学で交流活動を行った。本学に興味・関心を持った子どもたち20名と、引率の先生と引率ボランティアの保護者が来校した。はじめに、本学の正面玄関でお迎えをした。そこで、学生が挨拶をし、本日の交流の流れを説明した。大学の実際のサーモグラフィーによる体温検知や入校前の消毒など、コロナ禍での大学の感染対策も実際に子どもたちに体験してもらった。本館に案内し、A41教室に案内した。子どもたちは講義室に入って、大学の教室の広さや机や椅子が小学校とは異なることを実感し、早速、メモにとる子どもたちもいた。



### (1)子どもたちからの質問に答える交流の時間

講義室では、子どもたちから事前に出されていた大学についての質問について、クイズ形式にしながら大学生が答えるように進めた。質問者の子どもも決まっており、子どもたちは自分の質問をしっかりと大学生に伝えてくれていた。

また、子どもたちは大学生の答えをしっかりと記録していたので、子どもたちが記録を書く時間を保障しながら、子どもを「待つ」ということも意識できていた。所属する大学生の数や、大学生が曜日によっては21時頃まで大学で学んでいることを聞いて、子どもたちからは「えー」、「そうなのー」、「へえー」等、多くのつぶやきが聞かれた。大学生の伝える言葉を興味津々と聞いてくれていた。



### (2)大学見学・授業見学の様子

質問タイムの交流の後には、大学の校舎を学生が案内した。子どもたちは大学で働く人のことも質問し、興味・関心を持っていたので、大学で働く人たちの様子を見るために、大学事務局をガラス越しに見学してもらった。



その後、大学の授業の見学をしてもらった。こども学科、直江学美教授(こども学科長)担当の「音楽科教育法」の授業を参観してもらい、大学生と一緒に歌を歌って交流を行うことができた。



### 3. 成果、結果の考察

実際の小学校の生活科の学習に関わり、交流し、学べたことは貴重な体験となった。この活動後の振り返りにおいても学生たちは、子どもたちへの声の掛け方や、子どもの誘導、一斉指導の進め方など、実践的な学びとして多くことを学んでいた。

活動後には子どもたちからのお礼の手紙を小坂小学校の先生が届けて下さった。子どもたちからは大学構内を見学できた喜びや、質問内容に答えてくれたお礼が記されていた。学生たちはゼミの時間に子どもたち一人ひとりのお礼の手紙をじっくり読んだ。読みながら、思わず「嬉しい、こちらこそありがとう！」とつぶやく学生もいた。学生みんなが笑顔になり、子どもたちの学習に少しでも役に立てたという喜びと実感を共有できる時間となった。